

地域の足を 未来に残すため

みんなで乗ろう 公共交通

乗合タクシー編

市公共交通の
詳細はこちら



誰でも利用できる地域公共交通は、市民の生活を支える重要な「足」です。近年、自動車運転免許の自主返納や高齢者のみの世帯の増加など、今後も公共交通の需要は一層高まることが予想されます。

一方、市内ではマイカーで移動する人が多く、それが減便、さらに利用者減につながっています。私たちの大切な移動手段を未来に残すため、公共交通について考えてみませんか。

今回は、市の公共交通の中でも、予約する利用者に応じて運行時刻や経路が変わる乗合(デマンド)タクシーについて特集します。

安中市には、JR信越本線の駅が5つと北陸新幹線の安中榛名駅があり、高崎・前橋や首都圏方面への通勤・通学などの足だけでなく、観光客の移動手段として大きな役割を果たしています。

また、市が委託する路線バスと乗合タクシーは7路線で運行しているほか、民間路線バス2路線が運行しています。

今回の広報と一緒に発行した「公共交通案内図」もご確認ください



乗合(デマンド)タクシーって？

「間仁田・岩野谷線」と「磯部・中野谷線」の2路線があります

午後便の乗合タクシー(デマンド運行)は、目的地に直行する通常のタクシーとは異なり、同じ方面に行く人と乗り合いで利用する公共交通路線です。同じ便(時間帯)に予約した人が乗り合わせるため、到着時刻は前後することがあります。



デマンド運行のイメージ

■午前中はルート運行

同じ車両を使い、路線バスのように時刻表に沿ってルートを実行します。

■午後はデマンド運行

事前予約により、運行する時刻と経路が変わります(=予約がなければ運行しません)。どなたで

も利用できます。

上図のように、ルート上の停留所に利用者(予約)がいなければ立ち寄らず、最短経路で目的地に向かいます。

全国的に、利用が減少した路線バスの代替手段や、公共交通の空白を解消する目的で導入されることが多くなっています。

次のページで、デマンド運行の詳しい利用方法をお伝えします

